

市民協働事業提案制度 自己評価シート

令和3 年度実施事業

作成日 令和4年 3月 31日

事業名	スイス・ラトビア ホストタウン市民交流推進事業
記載団体 又は担当課	富士市国際教育ネットワーク

※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあがるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	富士市と富士市民がスイス連邦及びラトビア共和国のオリパラ各競技団体との意思疎通を図り、人的繋がりを構築することができた。また、相互交流を実施し、メダリストたちを応援することができた。
②役割分担は適切にできましたか。	5	国際交流室による事務手続きや委託料予算化により、ラトビア・スイス関係団体や大使館関係者とのコミュニケーションを円滑に図ることができました。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	5	事業の計画や実施については、複数人数で意思疎通を図り、綿密に情報交換をし、事前計画から事後報告まで一連の活動・協議事項は、議事録にて情報共有させて頂きました。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	今後予定されている事前合宿を迎え入れ、より多くの市民交流が実現できるよう、また、両国と市内企業の新たな経済交流を創出すべく、大使館や関係団体とのリモート交流の継続を図っていきたいと考えています。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	5	富士市立高校総合探究科の二年生39名とスイス・ラトビアのオリパラメダリストとのリモート交流を行うことが出来ました。また、両国と市内企業の新たな経済交流を創出すべく、大使館や関係団体とのリモート交流の継続を図っていきたいと考えています。

評価の流れ

自己評価シート

→

相互評価シート

■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足(評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など)
①目的・目標は達成できましたか。	5	令和3年度事業予定としては、オリパラ関係団体との交流の可能性調査としていましたが、既に数々の市民交流活動を実施することができました。また、両国大使館と協議を重ねながら、次年度につながる相互経済交流や、富士市CNFプラットフォームとの技術交流の可能性を協議を始めることができました。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	新型コロナウイルスの影響で、事前合宿における対面での市民交流活動が出来ませんでした。リモート交流や今後の経済・技術交流の調査についてはスケジュール通りに行うことができました。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	4	事業費用としては、おもに通信費と交通費となります。コロナによる緊急事態やまん延防止対策が緩和されたことにより、大使館訪問などが一部実現したことにより交通費が発生。そのため、一部人件費は個人負担となりました。また、移動時の拘束時間や事前準備時間なども各自本業での有給休暇などの個人負担となっています。
④事業に対する「受益者(市民)の満足度」は十分に図られましたか。 (受益者からの評価が分かる場合)	5	<small>※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など</small> 富士市立高校総合探究科二年生39名とメダリストのリモート交流は、学生の貴重な体験となったことと思います。今後の経済交流を視野に入れた活動には、市内茶産業やCNF関連企業の方々とスイス・ラトビアを拠点としたヨーロッパ企業や研究機関との交流が期待されます。

■ (3) その他、課題や改善方法など

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による海外との自由な往来が引き続き難しいことが懸念されることに加え、緊迫化するロシア・ウクライナ情勢により、各種経済活動やスポーツ競技大会が中止・延期になることが予想されます。ラトビア・スイスとのスポーツ競技団体との連携継続を支援し、両国と富士市の新たな産業交流創出を図るにあたり、他の市町における東京オリパラのレガシー活動の実績や取組みを調べて頂くことができれば、参考にさせて頂きたいと思っております。